

子どもからおとしよりまで 安心してくらせる兵庫へ

身近でたよれる県政に 地方自治体の役割は、「住民の福祉の増進」(地方自治法)——県民のくらしを向上させることです。力をあわせ、本来の役割をとりもどしましょう。

津川ともひさ

■略歴

1950年兵庫県洲本市に生まれ、兵庫県立姫路西高校で学び、名古屋大学法学部法律学科を卒業。兵庫県立東播磨高校、兵庫県立東播工業高校で社会科教諭として29年。

■現在

憲法が輝く兵庫県政をつくる会(憲法県政の会)代表幹事

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター 代表

原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会 共同代表

みなさんの願い
受けとめがんばります

兵庫・憲法県政の会の「リリーススピーチ」から

● 弁護士の吉井正明さん

神戸でもヘイトデモがつついています。兵庫県内には在日外国人が多く、ヘイトスピーチ規制条例が必要です。

● 公共交通問題にとりくむ松本勝雄さん

和歌山でも香川でも地方鉄道を守るため県が役割をはたしています。神戸電鉄粟生線の存続へ兵庫県がしっかりと役割をはたしてほしい。

● 医療福祉を学ぶ男子大学生

学生は、高い学費とバイトに苦しんでいます。学業に専念できるよう給付制の奨学金をつくってほしい。

● 青年雇用アンケートにとりくむ上園隆さん

兵庫県からブラック企業、ブラックバイトをなくしてほしい。「ゆるさないぞ」と県が宣言してほしい。

● 歯科医師の加藤擁一さん

病院の統廃合やベッド削減、老人医療費助成の削減ではなく、県民の命とくらしを守る政治をしてほしい。

● 被爆者の立川重則さん

健康不安をかかえる被爆二世の願いにこたえた支援策を、自治体独自でもやってほしい。

● 3人の子どもを育てる荻野潤子さん

「子どもの貧困」は6人にひとりです。保育所をふやし、安全・安心なあたたかい中学校給食を実現してほしい。もっと子育てを応援して。

いまの 兵庫県の 政治

知事

- 子どもの医療費は「(自己負担が)必要」「無料化は考えていません」
- 原発再稼働反対は「私に迫られても手の打ちようがない」
- 消費税10%について「税率の引き上げは不可欠なもの」

教育長

- 学校給食費への補助は「(県の)財政状況からみても極めて困難」
- 給付制奨学金は「(兵庫県が)実施主体となる立場にはない」